

諏訪の景気動向

平成18年 8月

(平成18年7月末D・調査)

平成18年8月14日

諏訪信用金庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成18年7月末）

平成18年7月末アンケート調査および企業訪問ヒヤリング調査からまとめた諏訪地方の景況

当金庫が諏訪地方203社のご協力を得て行った7月末の「景気動向調査」からみた地域の景況は、「3ヶ月前」と比べ業況判断DIは全体では6.4ポイントと前回調査に続き回復している。

製造業は10.0ポイントで好転企業が22.0%と多くみられるが、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)は3.8ポイントとなっている。

観光シーズンを迎え宿泊予約など前年を上回る滑り出しであったが、「集中豪雨災害報道」などから予約取り消しの打撃が大きく、観光・サービス業の前年同期比の業況判断DIは19.0ポイントとなった。商業にも集中豪雨の影響がみられ、建設業は厳しい状況が続いている。

製造業の業況は「好転」22.0%、「悪化」12.0%で、業況判断DIは10.0ポイントと前回調査時の9.3ポイントに引続き回復している。

「3ヶ月前」と比べての受注状況DIは11.5ポイントとなっている。規模別にみると、従業員数100人以上企業の受注動向DIは6.5ポイント、30人から99人企業は26.7ポイント、29人以下の企業は4.2ポイントで3区分とも増加企業が多くなっている。

業種別では一般機械、電気機械に受注が増加した企業が多くみられ、幅広い業種で受注は増加した。「3ヶ月後」の受注予測では一般機械、精密機械に受注増加を予想する企業が多くみられ、全体の受注予想DIは6.8ポイントで受注が増加するとみる企業が多くなっている。

ヒヤリング調査からは、産業機械や自動車関連企業は引き続き堅調な生産状況が続き、デジタル家電、IT機器など世界市場での競争激化からデバイスなど受注量は増加しているが、受注単価は低下している。原材料費の高騰が下請け企業の収益を圧迫しており、発注企業の一部に発注単価見直しの動きがみられた。

6月から7月の天候は、梅雨入り後の6月の降雨量は平年を大幅に下回ったものの、週末は天候が崩れ商業・観光などに影響がみられた。また、7月15日からの記録的豪雨により、岡谷市湊、川岸地区に土石流災害が発生し、諏訪市、下諏訪町をはじめ各地域に大きな被害が発生した。

商業は、浴衣や水着など夏物衣料が天候の影響を受け、食料品は野菜価格の高騰から購入点数が幾分減少している。薄型TVは順調な売れ行きをみせたが、エアコンなどの売れ行きは幾分低調だった模様。また、ホームセンターなど災害復旧関連商品は販売数を伸ばした。

商業全体の「3ヶ月前」と比べての業況判断DIは21.4ポイントとなっている。「前年同期比」の業況判断DIは42.9ポイントと低調になっている。

観光・サービス業は本格的シーズンを迎えたが、6月は週末の悪天候の影響を受け、7月は集中豪雨による宴会の中止や宿泊予約の取り消し等の影響が出ている。また、岡谷太鼓祭りをはじめ各種の地域イベントも中止となっている。

観光・サービス業における「3ヶ月前」と比べての業況判断DIは19.0ポイントとなっているが、「前年同期比」では19.0ポイントとなっている。

建設業は、公共工事の発注が少ないなか新設住宅や工場増設など建築工事に幾分動きが出ている。

土木工事は公共工事が少なく厳しい状況が続いていたが、集中豪雨災害復旧工事に緊急工事の発注がみられた。

製造業の収益性は、受注が安定しているものの原材料の値上がり、受注単価の引き下げなど厳しい環境が続き、収益性DIは再びマイナスに転じた。中小企業の収益は、上場大企業の収益回復に連動せず、依然回復感は見られない。非製造業は、商業、観光・サービス業など天候や豪雨災害の影響を受け、建設業が厳しい受注環境にあるなど引き続き収益性に回復はみられない。

雇用状況は6月の諏訪地方の有効求人倍率は、諏訪職安・岡谷職安合わせて1.28倍で平成15年10月から33ヶ月連続して1倍台を維持しており雇用環境は安定している。

新規求人は諏訪、岡谷職安合わせて1,598人で前年同月比53人で3.2%の減少。新規求職者数は800人で12月から連続して減少が続いている。

業況判断DIの推移（3ヶ月前と比較して）

今回調査（7月末）の回答全社203社の「3ヶ月前」と比べての業況は、好転とする企業が20.7%で業況判断DIは6.4ポイントと前回調査時に続き回復状況が続いている。

製造業の業況判断DIは10.0ポイントで前回調査時に続き回復している。受注状況は、30.4%の企業が「増加」しており、中分類5業種はいずれの業種とも受注が増加した。

非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の業況判断DIは3.8ポイントで商業、サービス業など第3次産業は、6月・7月の天候に恵まれず7月の集中豪雨災害の影響を受けたところもみられる。

建設業は公共事業の発注案件が少なく土木工事の受注環境は厳しい状況が続いていたが、7月下旬からは災害復旧工事などの受注がみられる。

産業別業況表

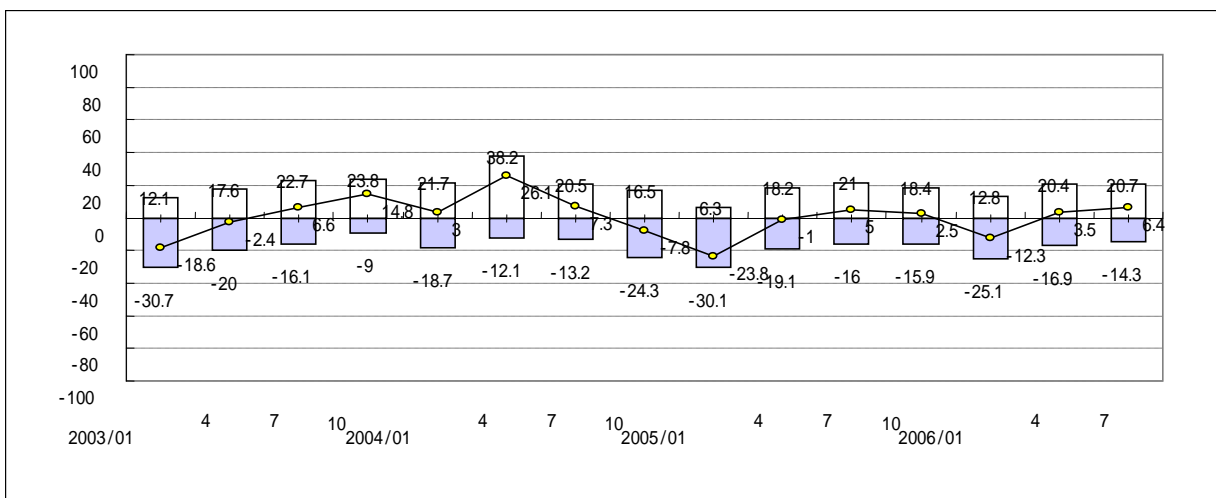
（企業数・%） 表 - 1

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|---------|----------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|-------|---------|------|------|------|------|
| | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 全体 | 203 | 20.7 | 65.0 | 14.3 | 6.4 | 202 | 29.2 | 44.6 | 26.2 | 3.0 | 200 | 17.0 | 72.5 | 10.5 | 6.5 |
| 製造業 | 150 | 22.0 | 66.0 | 12.0 | 10.0 | 149 | 33.6 | 43.6 | 22.8 | 10.7 | 148 | 12.8 | 79.7 | 7.4 | 5.4 |
| 非製造業 | 53 | 17.0 | 62.3 | 20.8 | -3.8 | 53 | 17.0 | 47.2 | 35.8 | -18.9 | 52 | 28.8 | 51.9 | 19.2 | 9.6 |
| 商業(大型店) | 14 | 7.1 | 64.3 | 28.6 | -21.4 | 14 | 7.1 | 42.9 | 50.0 | -42.9 | 14 | 28.6 | 50.0 | 21.4 | 7.1 |
| 建設業 | 18 | 0.0 | 83.3 | 16.7 | -16.7 | 18 | 22.2 | 55.6 | 22.2 | 0.0 | 18 | 22.2 | 66.7 | 11.1 | 11.1 |
| 観光・サービス | 21 | 38.1 | 42.9 | 19.0 | 19.0 | 21 | 19.0 | 42.9 | 38.1 | -19.0 | 20 | 35.0 | 40.0 | 25.0 | 10.0 |

自社業況判断DIの推移(「3ヶ月前」と比べて)

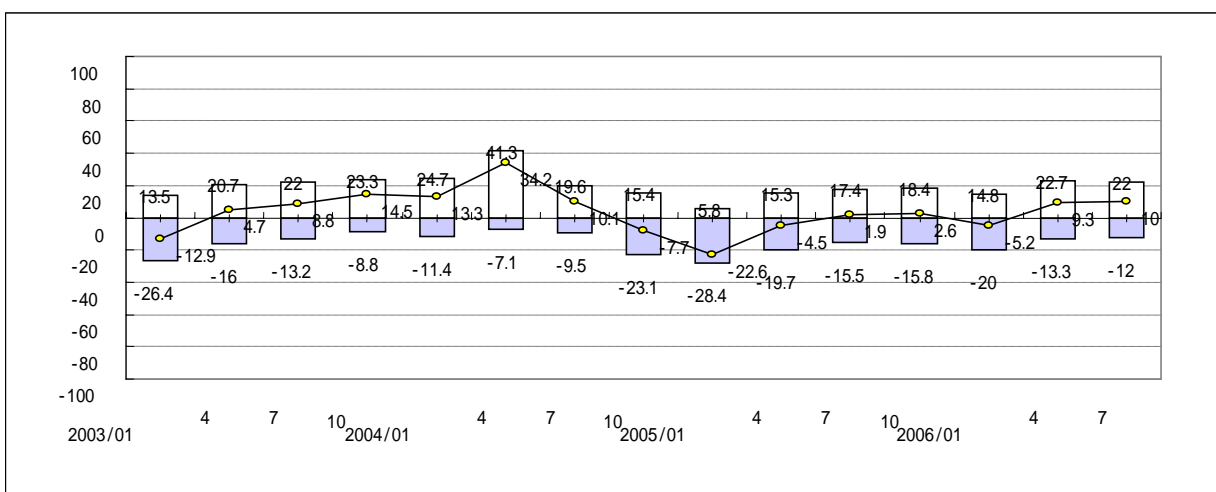
回答全社

グラフ - 1



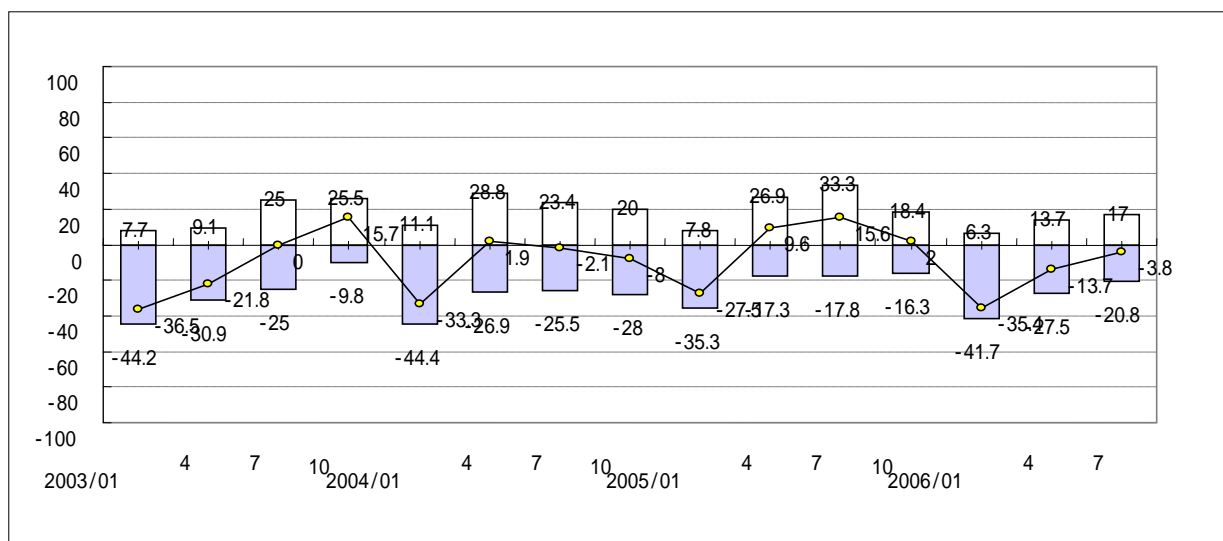
製造業

グラフ - 2



非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)

グラフ - 3



産業別景気動向

1. 製造業

製造業の業況判断DIは10.0ポイントで前期に続きプラスとなった。好転企業が22.0%みられる一方、悪化企業が12.0%と親企業により区々となっている。収益性は前回調査時には8期ぶりに好転企業が悪化企業を上回ったが、今回調査では原材料の高騰が受注単価に反映され難いことから再び収益性DIはマイナスとなった。

規模別では30人～99人企業に業況好転企業が多くなっており、次いで100人以上、29人以下企業となっている。「3ヶ月後」の予想では12.8%の企業で業況が好転すると予想しているが、100人以上企業では業況が悪化とみる企業が16.1%みられ、100人以上企業の予想業況DIは6.5ポイントとなっている。

デジタル家電、IT機器は大手メーカーの激しい競争が続き、電子デバイスなど受注量は堅調ながら受注単価は低下傾向が続いている。下請け企業では、原材料費の高騰に悲鳴を上げる企業もあり親企業の一部には発注単価の見直しに応じるところもみられる。

地域企業は総体では65.0%の企業が業況を「横這」としており、「好転」企業が20.7%で前回調査時に引き続き業況は回復している。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表 - 2

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | | |
|-----|------------|------|------|------|------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|
| | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | |
| 全体 | 203 | 20.7 | 65.0 | 14.3 | 6.4 | 202 | 29.2 | 44.6 | 26.2 | 3.0 | 200 | 17.0 | 72.5 | 10.5 | 6.5 | |
| 製造業 | 150 | 22.0 | 66.0 | 12.0 | 10.0 | 149 | 33.6 | 43.6 | 22.8 | 10.7 | 148 | 12.8 | 79.7 | 7.4 | 5.4 | |
| 規模 | 1～29人 | 73 | 20.5 | 63.0 | 16.4 | 4.1 | 72 | 20.8 | 52.8 | 26.4 | -5.6 | 71 | 14.1 | 81.7 | 4.2 | 9.9 |
| | 30～99人 | 46 | 26.1 | 69.6 | 4.3 | 21.7 | 46 | 41.3 | 41.3 | 17.4 | 23.9 | 46 | 13.0 | 80.4 | 6.5 | 6.5 |
| | 100～人 | 31 | 19.4 | 67.7 | 12.9 | 6.5 | 31 | 51.6 | 25.8 | 22.6 | 29.0 | 31 | 9.7 | 74.2 | 16.1 | -6.5 |
| 中分類 | 金属製品製造業 | 19 | 26.3 | 63.2 | 10.5 | 15.8 | 18 | 33.3 | 38.9 | 27.8 | 5.6 | 19 | 5.3 | 94.7 | 0.0 | 5.3 |
| | 一般機械器具製造業 | 40 | 22.5 | 60.0 | 17.5 | 5.0 | 39 | 25.6 | 51.3 | 23.1 | 2.6 | 38 | 18.4 | 71.1 | 10.5 | 7.9 |
| | 電気機械器具製造業 | 30 | 26.7 | 63.3 | 10.0 | 16.7 | 30 | 43.3 | 33.3 | 23.3 | 20.0 | 30 | 16.7 | 66.7 | 16.7 | 0.0 |
| | 輸送用機械器具製造業 | 18 | 16.7 | 72.2 | 11.1 | 5.6 | 18 | 44.4 | 38.9 | 16.7 | 27.8 | 18 | 11.1 | 88.9 | 0.0 | 11.1 |
| | 精密機械器具製造業 | 16 | 31.3 | 50.0 | 18.8 | 12.5 | 16 | 37.5 | 37.5 | 25.0 | 12.5 | 15 | 20.0 | 73.3 | 6.7 | 13.3 |

諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

金属製品（プレス、メッキ、熱処理など）

「3ヶ月前」と比べての業況判断DIは15.8ポイントとなっている。好転した企業は26.3%で悪化した企業が10.5%と業況は幾分回復している。

「3ヶ月後」の予想業況DIは5.3ポイントで「横這」とみる企業が94.7%となっており、

堅調な見方の企業が多くなっている。

一般機械（工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など）

「3ヶ月前」と比べての業況判断D Iは5.0ポイントで、好転した企業22.5%・悪化した企業17.5%であるが、専用機関係で幾分減少したところがみられる。

電気機械（家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど）

「3ヶ月前」と比べ業況が好転した企業が26.7%、悪化した企業が10.0%で、業況判断D Iは16.7ポイントとなった。「3ヶ月後」の予想業況D Iは0.0ポイントで、横這いとみる企業が66.7%となっている。

輸送用機械（自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など）

「3ヶ月前」と比べての業況判断D Iは5.6ポイントで、好転した企業16.7%、横這の企業72.2%となっている。自動車の国内生産台数が100万台を維持しており、受注単価は厳しいものの総じて受注量は安定している。

精密機械（時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など）

「3ヶ月前」と比べて業況判断D Iは12.5ポイントとなっている。好転とする企業が31.3%となっており、一眼レフ鏡枠加工などの受注は引き続き増加している。

他の製造業

業種により業況は区々となっており食料品、プラスチック工業などに受注減少企業がみられ業況判断は区々となっている。

規模別業況

製造業の規模別業況判断D Iは1人～29人企業4.1ポイント、30人～99人企業21.7ポイント、100人以上企業6.5ポイントで30人～99人企業に業況好転企業が多くみられる。「3ヶ月後」の業況の予想では規模の小さな企業に好転すると予測する企業が多くみられ、100人以上企業に慎重な見方の企業が多く予想業況D Iは6.5ポイントとなっている。

ヒヤリング調査からは、デジタル家電・IT製品の競争激化による大手企業からのコスト削減要求が厳しく収益を圧迫している。

業種別・規模別受注状況

製造業全社の受注状況は「3ヶ月前」と比べ増加企業30.4%、減少企業18.9%で受注状況D Iは11.5ポイントと前回調査に続き受注は回復している。

規模別の受注状況はいずれの規模も「不変」が一番多いものの、受注増加企業も多く受注状況D Iは30人～99人企業26.7ポイント、100人以上企業6.5ポイント、29人以下企業は4.2ポイントとなっている。29人以下企業では、29.2%が受注増加、25.0%が受注減少しており、企業により受注状況は区々となっている。全社の「3ヶ月後」の予想D Iは6.8ポ

イントで受注増加を予想しているが、100人以上企業では19.4%が受注減少を予想している。

主要5業種では「3ヶ月前」と比べ受注状況DIは、金属製品21.1ポイント、電気機械13.3ポイントで5業種全体では9.8ポイントになっている。

「3ヶ月後」の予想受注状況DIは11.5ポイントで、受注が増加するとみる企業が30.4%で引き続き受注が回復するとみる企業が多くなっている。

業種別・規模別受注状況表

表 - 3

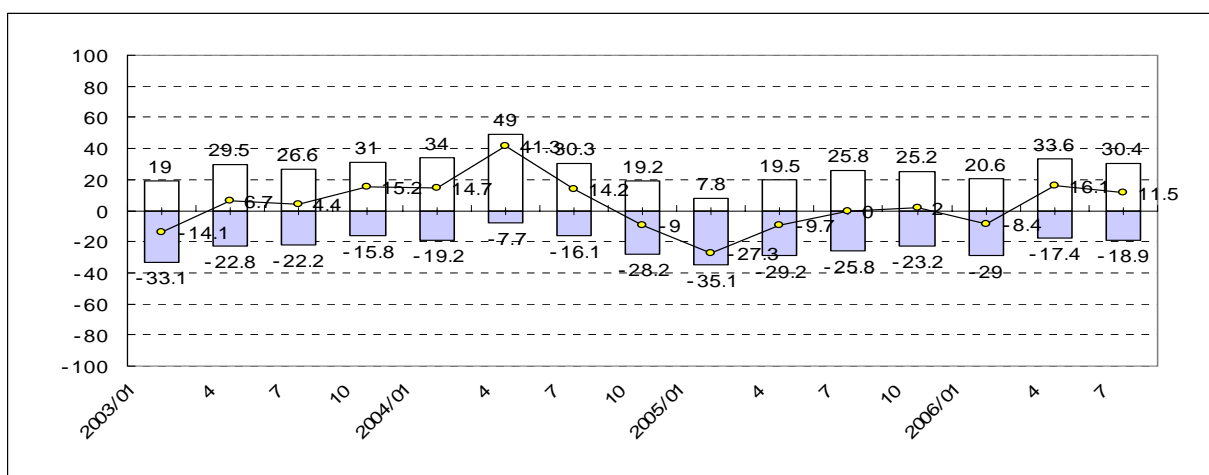
| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | | |
|------------|------------|------|------|------|------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|
| | 回答企業 | 増加 | 不変 | 減少 | DI | 回答企業 | 増加 | 不変 | 減少 | DI | 回答企業 | 増加 | 不変 | 減少 | DI | |
| 製造業 | 148 | 30.4 | 50.7 | 18.9 | 11.5 | 147 | 40.8 | 34.0 | 25.2 | 15.6 | 147 | 19.0 | 68.7 | 12.2 | 6.8 | |
| 規模 | 1~29人 | 72 | 29.2 | 45.8 | 25.0 | 4.2 | 71 | 22.5 | 40.8 | 36.6 | -14.1 | 70 | 21.4 | 68.6 | 10.0 | 11.4 |
| | 30~99人 | 45 | 35.6 | 55.6 | 8.9 | 26.7 | 45 | 51.1 | 33.3 | 15.6 | 35.6 | 46 | 17.4 | 71.7 | 10.9 | 6.5 |
| | 100~人 | 31 | 25.8 | 54.8 | 19.4 | 6.5 | 31 | 67.7 | 19.4 | 12.9 | 54.8 | 31 | 16.1 | 64.5 | 19.4 | -3.2 |
| 中分類 | 金属製品製造業 | 19 | 31.6 | 57.9 | 10.5 | 21.1 | 19 | 47.4 | 31.6 | 21.1 | 26.3 | 19 | 0.0 | 94.7 | 5.3 | -5.3 |
| | 一般機械器具製造業 | 40 | 32.5 | 40.0 | 27.5 | 5.0 | 38 | 36.8 | 34.2 | 28.9 | 7.9 | 38 | 28.9 | 52.6 | 18.4 | 10.5 |
| | 電気機械器具製造業 | 30 | 33.3 | 46.7 | 20.0 | 13.3 | 30 | 46.7 | 30.0 | 23.3 | 23.3 | 30 | 20.0 | 60.0 | 20.0 | 0.0 |
| | 輸送用機械器具製造業 | 17 | 17.6 | 70.6 | 11.8 | 5.9 | 17 | 41.2 | 35.3 | 23.5 | 17.6 | 17 | 11.8 | 88.2 | 0.0 | 11.8 |
| | 精密機械器具製造業 | 16 | 25.0 | 56.3 | 18.8 | 6.3 | 16 | 43.8 | 37.5 | 18.8 | 25.0 | 16 | 31.3 | 56.3 | 12.5 | 18.8 |

製造業全社の受注状況DIの推移

全社

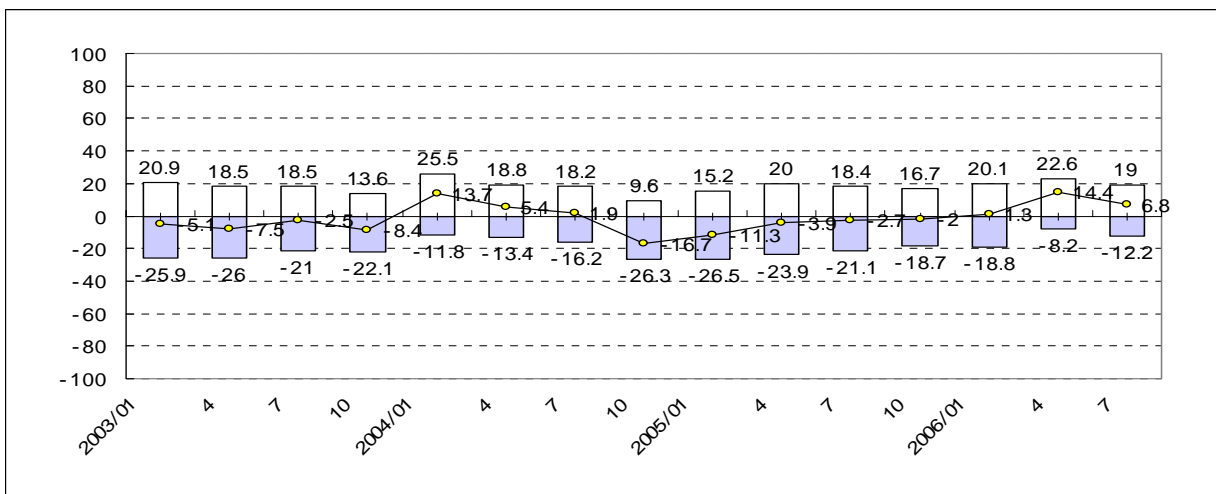
「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 4



「3ヶ月後」の予想

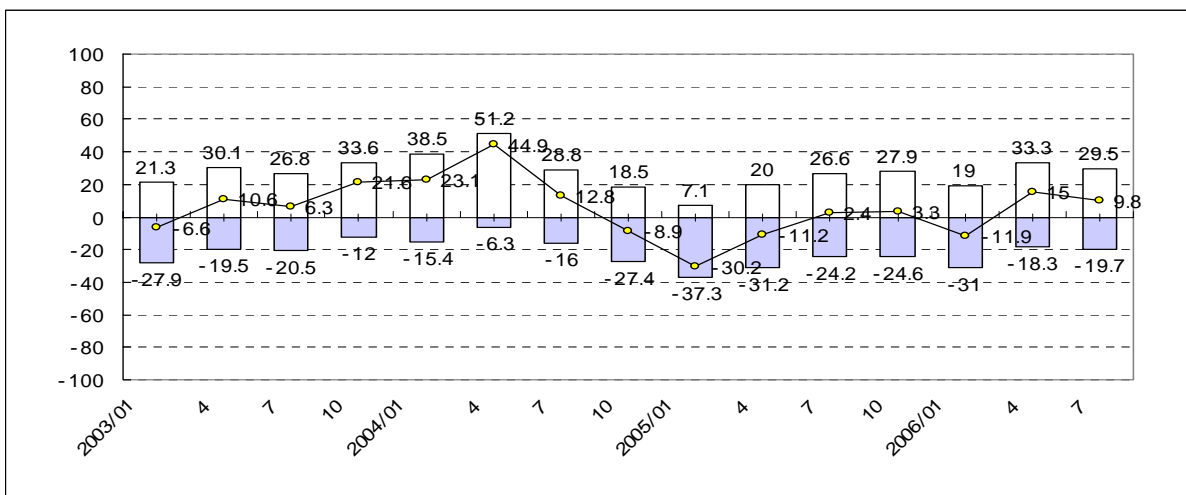
グラフ - 5



5業種の受注状況DIの推移

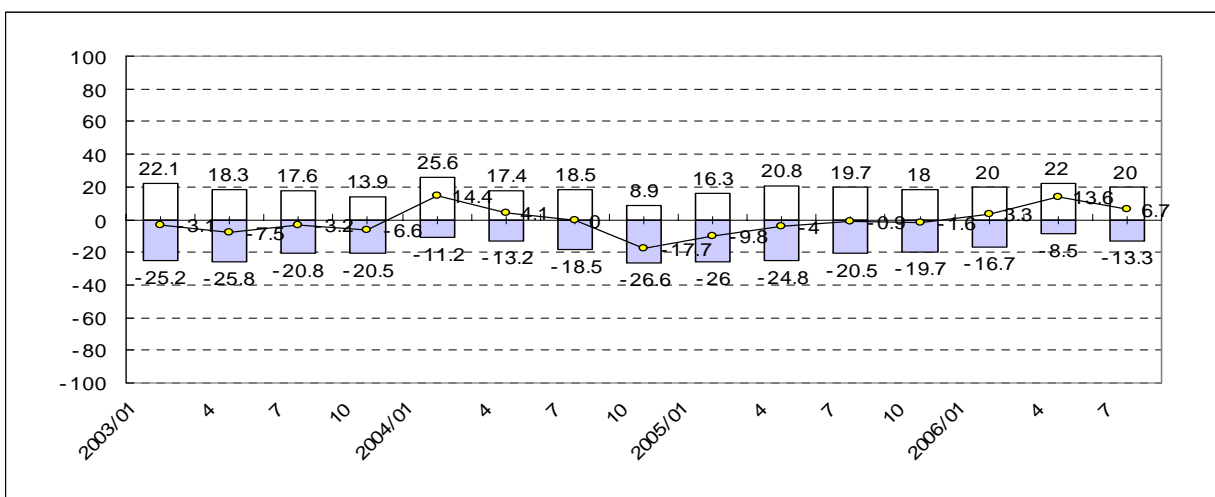
「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 6



「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフ - 7



2. 商業・観光サービス業

商業

梅雨の期間が平年より長く、6月の降雨量は少なかったものの平均気温が低く週末は天候が崩れ、7月は15日からの集中豪雨により災害が発生し来店客数の減少、客単価の低下など商業活動は大きな影響を受けた。「お中元」商戦は滑り出し順調だったものの、7月中・下旬は低調となり、夏物衣料品の売れ行きも低調であった。

食料品、ホームセンター、大型家電店など含めた商業全体の「3ヶ月前」と比べての業況判断DIは21.4ポイントとなっている。ヒヤリング調査でのクールビズ関連商品の動きとしては、シャツは前年より幾分低調だったが、ベルトなど身の回り商品の動きは活発だった。

食料品 店舗間の価格競争が激化している。生鮮3品では野菜の高騰が他の食材に影響し購入点数が減少しているところもみられ客単価は低下傾向となっている。

衣料品 浴衣や水着など売れ行き低調のなか、清涼感のある下着類に動きがみられたが夏物衣料品は全般に低調な売れ行きであった。

ホームセンター 災害復旧関連用品は売れ行きを伸ばし全体では昨年を上回る売れ行きの模様。

大型家電店 薄型大型TVは堅調な売れ行きをみせたものの、エアコンは天候の影響から売れ行きは低調だった模様。携帯電話は順調な売れ行きをみせ、パソコンは幾分低調となっている。

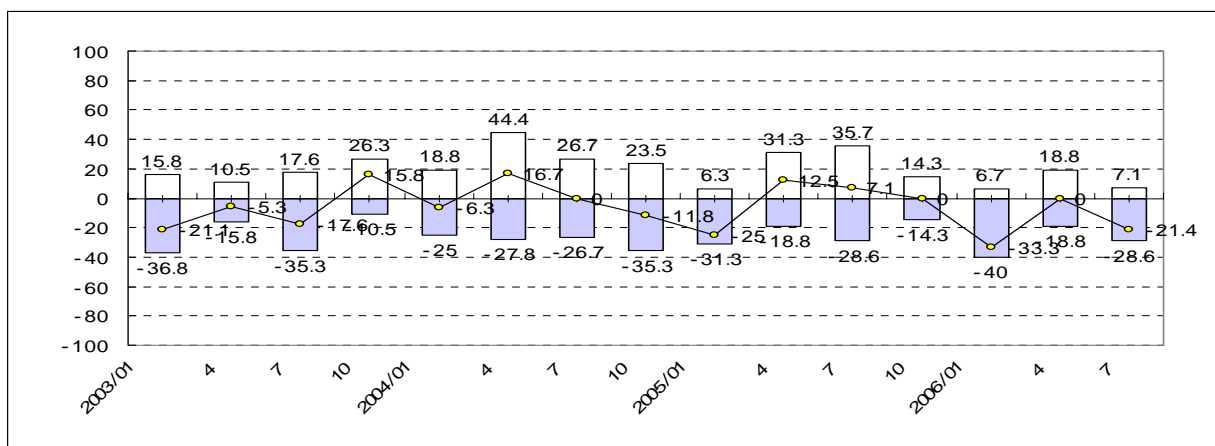
業況、客単価、来店客数

表 - 4

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|------|----------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|-------|---------|------|------|------|-------|
| | 回答企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 業況 | 14 | 7.1 | 64.3 | 28.6 | -21.5 | 14 | 7.1 | 42.9 | 50.0 | -42.9 | 14 | 28.6 | 50.0 | 21.4 | 7.1 |
| 客単価 | 14 | 7.1 | 50.0 | 42.9 | -35.7 | 14 | 7.1 | 42.9 | 50.0 | -42.9 | 14 | 21.4 | 42.9 | 35.7 | -14.3 |
| 来店客数 | 14 | 21.4 | 35.7 | 42.9 | -21.4 | 14 | 28.6 | 21.4 | 50.0 | -21.4 | 14 | 21.4 | 57.1 | 21.4 | 0.0 |

「3ヶ月前」と比べての業況判断DIの推移

グラフ - 8



観光・サービス業

本格的観光シーズンを迎え、シーズン当初は予約も好調で期待されたが、7月中旬の集中豪雨災害による予約の取り消しや道路の寸断などの影響から厳しい状況へ一転した。宿泊客は施設により区々となっているが、「3ヶ月前」と比べての宿泊客数DIは 14.3ポイントで災害の影響を受け低調であった。8月の天候回復により業況回復が期待され、「3ヶ月後」の秋の行楽シーズンの業況予想は、35.0%の企業が好転を予想している。

白樺湖、蓼科、霧ヶ峰方面の宿泊客数は道路事情から予約取り消しがみられたが、旅館により区々となっている。天候の回復に伴い入込客が増えており今後にも期待がもたれる。

上諏訪温泉の一部施設は、床上浸水などの被害に見舞われ、予約取り消しなどの影響もみられたが、その後回復に向かっている。一部に風評被害を受けたところもみられた。「3ヶ月前」比では宿泊客数が増加したところもみられた。

諏訪地域全体の「3ヶ月前」比の宿泊客数DIは 14.3ポイント、「前年同期」と比べての宿泊客DIは 33.3ポイントとなっている。

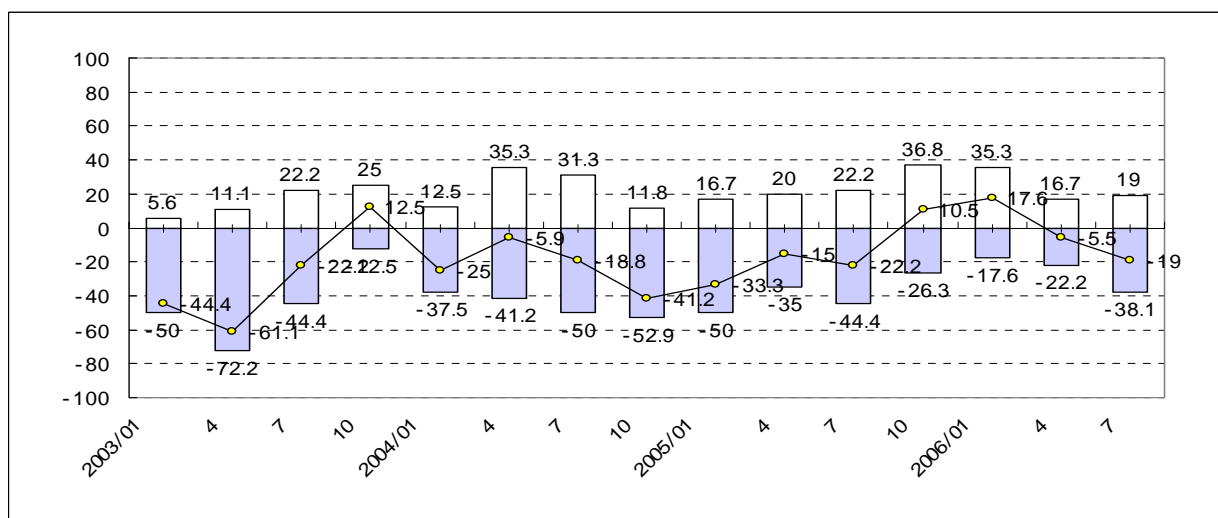
業況、売上、宿泊客

表 - 5

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|------|----------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|-------|---------|------|------|------|------|
| | 回答企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 業況 | 21 | 38.1 | 42.9 | 19.0 | 19.0 | 21 | 19.0 | 42.9 | 38.1 | -19.0 | 20 | 35.0 | 40.0 | 25.0 | 100 |
| 客単価 | 21 | 28.6 | 57.1 | 14.3 | 14.3 | 20 | 20.0 | 60.0 | 20.0 | 0.0 | 20 | 30.0 | 55.0 | 15.0 | 15.0 |
| 宿泊客数 | 21 | 33.3 | 19.0 | 47.6 | -14.3 | 21 | 23.8 | 19.0 | 57.1 | -33.3 | 20 | 35.0 | 30.0 | 35.0 | 0.0 |

「前年同期」と比べての業況判断DIの推移

グラフ - 9



3. 建設業

公共工事が少ないなか、新設住宅や工場増設など建築工事は充足したとする事業所がみられるが、土木工事は工事量が少なく建設業総体としては依然厳しい経営環境が続いている。災害発生後は災害復旧工事など緊急工事が行われている。

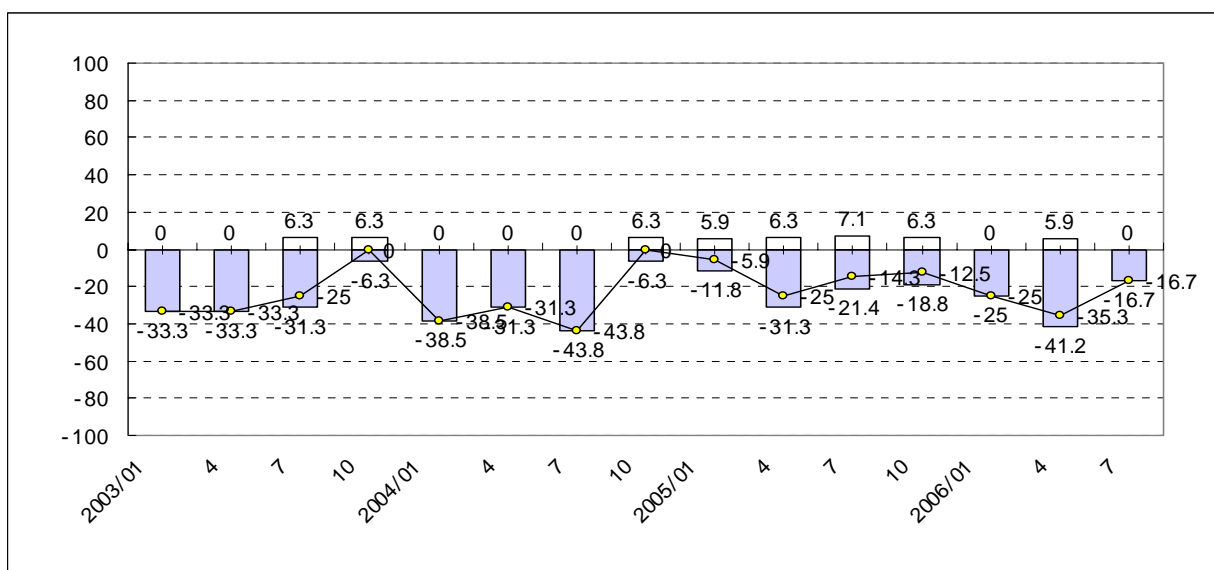
業況、受注状況、外注発注量

表 - 6

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|-------|------------|------|------|------|-------|------------|------|------|------|-------|------------|------|------|------|-------|
| | 回 答 企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回 答 企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回 答 企業数 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 業 況 | 18 | 0.0 | 83.3 | 16.7 | -16.7 | 18 | 22.2 | 55.6 | 22.2 | 0.0 | 18 | 22.2 | 66.7 | 11.1 | 11.1 |
| 受注状況 | 18 | 16.7 | 55.6 | 27.8 | -11.1 | 17 | 29.4 | 41.2 | 29.4 | 0.0 | 18 | 27.8 | 38.9 | 33.3 | -5.6 |
| 外注発注量 | 18 | 11.1 | 50.0 | 38.9 | -27.8 | 18 | 16.7 | 33.3 | 50.0 | -33.3 | 18. | 278 | 33.3 | 38.9 | -11.1 |

「3ヶ月前」と比べての業況判断DIの推移

グラフ - 10



4 収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べての収益性D Iは、10.1ポイントでマイナス幅が拡大した。

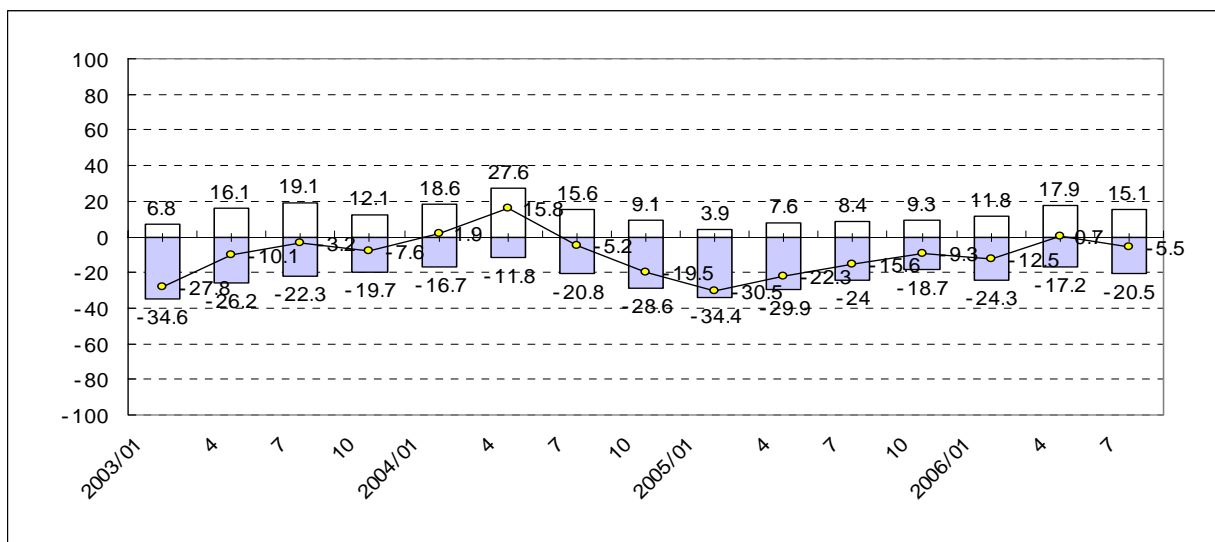
製造業の受注環境は好転しているものの、原材料高や原油高が受注単価に反映されないなどから、「3ヶ月前」と比べ収益性D Iは5.5ポイントで前回のプラスから再びマイナスに転じ、収益性は厳しい状況が続いている。

非製造業の収益性D Iは22.6ポイントで、第3次産業（商業、観光・サービス業）は災害と天候の影響を受け建設業は依然厳しい状況が続いている。

「3ヶ月前」と比べての収益性D Iの推移

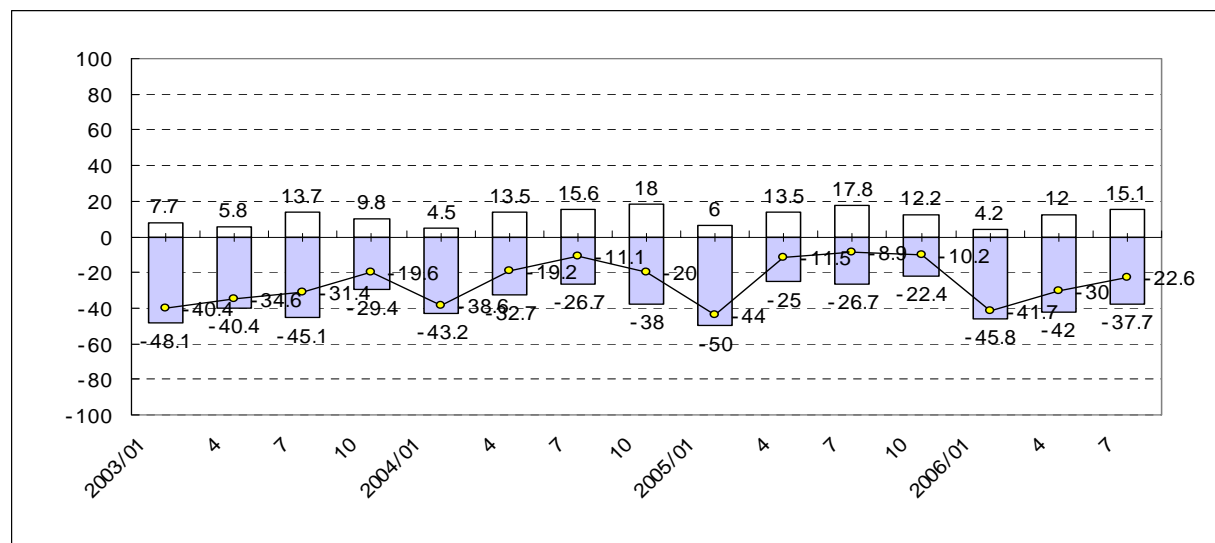
製造業

グラフ - 1 1



非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）

グラフ - 1 2



経営上の課題

経営上の課題として、製造業は売上減少・受注単価引下げをあげる企業が多く、商業は売上減少・人件費・資金繰り、建設業は競争激化・売上減少、観光・サービス業は売上減少・資金繰りをあげている。

その他の課題として、製造業では原材料の高騰・入手困難を挙げる企業が多く、次いで人材（技術者）確保をあげる企業が多い。商業では大型店進出による競争激化をあげている。

経営上の課題

| | 合計 | 製造業 | 商業 | 建設業 | 観光・サービス業 |
|-------|----|-----|----|-----|----------|
| 売上減少 | 77 | 49 | 7 | 10 | 11 |
| 単価引下げ | 56 | 44 | 0 | 7 | 5 |
| 競争激化 | 56 | 39 | 2 | 12 | 3 |
| 資金繰り | 32 | 21 | 5 | 4 | 11 |
| 人件費 | 32 | 21 | 5 | 0 | 6 |
| 労働力確保 | 45 | 27 | 4 | 0 | 4 |

1. 調査期間 平成18年7月末
2. 調査内容 「平成18年7月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後の予想」
3. 調査方法 アンケート調査及びヒヤリング調査
4. 対象地域 諏訪地域全域
5. 業種 製造業、商業（大型店：売り場面積501㎡以上）、建設業、観光・サービス業
6. 回答企業数 203企業
7. 回答率 67.7%

| | 製造業 | 商業 | 建設業 | 観光・サービス業 | 合計 |
|-----|-----|----|-----|----------|-----|
| 依頼数 | 225 | 30 | 22 | 23 | 300 |
| 回答数 | 150 | 14 | 18 | 21 | 203 |

諏訪地方主要経済指標

| 主要指標 | | 実 数 | 前年同期比 |
|-------------------------------------|-------------|------------|-----------|
| 有効求人倍率 【6月】 | 諏訪公共職業安定所管内 | 1.23 倍 | 0.03 ポイント |
| | 岡谷公共職業安定所管内 | 1.34 倍 | 0.17 ポイント |
| 手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱) | 枚 数 | 12,379 枚 | 1,224 枚 |
| | 金 額 | 15,047 百万円 | 2,406 百万円 |
| うち不渡り 発生状況 | 枚 数 | 34 枚 | 34 枚 |
| | 金 額 | 17,517 千円 | 17,517 千円 |
| 車庫証明取扱件数【7月】 (諏訪・岡谷自家用自動車協会管内) | | 1,066 件 | 16.8 % |
| 新設住宅着工件数(18.4~18.6月) (諏訪地方事務所管内) | | 757 件 | 35.9 % |